

## 令和5年度 国語科

教科	国語科	科目	追手門国語	単位数	1	年次／コース	高校3年生／進学文系
使用教科書							
副教材など	プリント教材						

## 1. 担当者からのメッセージなど（学習方法など）

- ・追手門国語では文章を書くことを中心に学習を進めます。高校2年時に文章の書き方や技術を学んだことを基礎にしながら、高校3年時では入試に必要な志望理由書の記入や、小論文の対策なども視野に入れながら練習を繰り返します。
- ・高校3年時には文章を書くだけでなく、時事問題の知識や現代を巡る問題について知り、考え、自分の意見をまとめる取り組みも行います。

## 2. 学習の到達目標

文章表現の技術を身に付け、自分の考えを整理して、根拠を示しながら論理的な文章として記述できるようになる。また、自分の大学志望理由を深め、将来の学びをよく理解して、自分の志望についての的確に記述できるようになる。語句の知識を広めて広範な語彙を用いて文章を記述できるようになる。

現代社会についての知識を深め、思考力・判断力・表現力を高めるように努力する。

## 3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：関心・意欲・態度	B：話す・聞く能力	C：書く能力	D：知識・理解
観 点 の 趣 旨	文章や話の内容を読み取るための基礎知識を積極的に身につけようと努力する。	文章読解をもとにした意見交換の場では、自分の解釈を述べるとともに、相手の意見を尊重して、正確な読解のために貢献することができる。	自分の考えを持ち、文章として正確に表現することができる。また、自ら考え、根拠を踏まえて表現することができる。	多様な語句を用いて豊かな表現を目指すことができる。社会の問題について調べ、まとめ、考えようとすることができる。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の提出</li> <li>・リフレクション</li> <li>・提出期限の厳守</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・周りとの協働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート提出</li> <li>・課題提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション</li> <li>・レポート提出</li> <li>・課題提出</li> </ul>

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			A	B	C	D		
1 学 期	自分のよいところ探し  レポートにまとめよう  プレゼンテーション	他者へのインタビュー  自己PRにつなげる  3分間発表  他者の発表を聴く・	○	○	○	○	A：自分の言葉でインタビューしたことをまとめる  B：自分のよいところを周囲の人にインタビューすることができる。また、他者に対してよいところを客観的に伝えることができる  C：インタビューした内容をまとめて発表することができる  D：話し言葉と書き言葉を分け、わかりやすく伝えることができる	レポートの提出  スピーチ  提出期限の厳守  リフレクション
2 学 期	国内時事問題について  ・知ろう  ・レポートにまとめよう  ・意見を発表しよう  ・意見を聞き合おう  国際的な時事問題につ	新聞を使って  ・概要をまとめる  ・自分の考えをまとめる  ・他者に伝える	○	○	○	○	A：新聞を読み、まとめることができる  B：自分の考えや意見を周囲の人に伝えることができる。また、他者の意見に対して考えを伝えることができる  C：ニュースを要約することができる。発表する為の原稿を書くことができる  D：ニュースの概要・自分の考えをわかりやすく伝えることができる。  A：出典に注意しながらネットニュースを読み、まとめることができる	レポートの提出  スピーチ  提出期限の厳守  リフレクション

	いて  ・知ろう  ・レポート にまとめよ う  ・意見を発 表しよう  ・意見を聞 き合おう	・概要をま とめる  ・自分の考 えをまとめ る  ・自分の考 えを伝える  ・他者の意 見を聞く					B：自分の考えや意見を周囲の人に伝えることができ る。また、他者の意見に対して考えを伝えること ができる  C：ニュースを要約することができる。発表する為 の原稿を書くことができる  D：ニュースの概要・自分の考えをわかりやすく伝 えることができる。	
--	---	--	--	--	--	--	---	--